



各種団体代表者によるパブリックミーティング

～築城450年という好機を生かして今後このまちのためにどんなアクションを起こしていくのか～

三原の魅力再発見フォーラム
築城四五〇年に向けて、開催！

二層櫓の再構築！



三原商工会議所
会頭 勝村 善博 氏

鯉の城下構想！



広島経済同友会三原支部
支部長 勝村 憲明 氏

やっさを県内一に！



一般社団法人 三原青年会議所
理事長 大石 努 氏



築城450年事業の取り組みとして、三原市・観光協会・経済同友会などで「瀬戸内三原築城450年事業推進協議会」を結成し取りまとめを行なっています。商工会議所では、小早川隆景という小説を執筆した童門冬二氏を招いて文化講演会を計画しています。まちの歴史を知ることで、市民の皆様がまちに誇りを持って頂きたいと思ひます。また、毎年商工会議所ではやっさ祭りの事務局を受け持ち、寄付を集めています。個人的な提案ですが築城450年を機に二層櫓か城門の一つを再構築してはどうでしょうか。組織を立ち上げ市民の皆様募金を募り、市民の手による城の再構築に取り組むのも夢があると思ひます。三原城が国の史跡なので難しい部分もありますが、困難を乗り越え取り組みたいと思ひています。

経済同友会では経済を切り口に三原の活性化に取り組んでいます。三原の魅力のキーワードを「ええまちみはら」として取り上げ、次の100年続く風景を作るために、「安全安心で快適なまち」「安定した経済環境のまち」「行きたい住みたい帰りたいまち」を「ええまち三原」の要素と考えています。そして三原には世界一の鯉を生産している資源があります。ここ10年、5割以上の確率で優勝しています。中国やインドネシアといった海外から三原に鯉を買いに来られています。そこで三原城の堀を整備してこれら世界ブランドの鯉を泳がせてみてはどうでしょうか。私たちは「鯉の城下町構想」として発表し取り組みを進めています。2017年までには必ず実現し、皆様に楽しんでいただきたいと思います。

本年は、三原の歴史をより詳しく学び、このまちの誇れる資源を再認識することから始めています。私たちは「三原の魅力再発見プロジェクト」というテーマのもと、小早川隆景公から三原城、新高山城などゆかりのある史跡について、調査メンバー全員で学ぶ事業を実施しました。三原には歴史的に大変貴重で日本でも有数の史跡や歴史的資源があります。学びと発信を続けてゆくことで、築城450年に向けて機運を高めてゆくと共に、市民の皆様郷土への思いを醸成してゆきたいと考えています。また、築城450年という節目を祝う事業の候補として「やっさ祭り」「やっさ踊り」を活かすという選択肢があると考えています。「やっさ祭り」が真に県内一の祭りとなることを目指すということも団体で掲げています。

- 二面 築城四五〇年 取り組み実現に向けて
- 三面 基調講演「築城と三原の歴史」 講師 橋本敬二氏
- 四面 三原城城主 小早川隆景公の歴史